

外科 救急科

TEL 022-717-7024(外来)



科長
久志本 成樹 教授



地域の先生方へ

救急患者さんの診療では、“時間”がとても大切です。確定診断より病態の緊急性の判断と速やかな治療の開始が大きく転帰に影響します。“緊急を要する病態”であると考えられるときには、適切なタイミングでご紹介ください。限りある医療資源としての救急集中治療です。状態安定後には、ご紹介いただいた患者さんをお受けいただきたくお願いします。



診療科WEB

診療内容

救急科では、救急車で運ばれてくる患者さんを中心として救急科専門医が初期診療を担当します。多発外傷や重症熱傷、心肺機能停止状態に対する蘇生と心停止後症候群の治療、敗血症、原因不明のショック、熱中症などの環境障害、呼吸不全に対する集中治療、急性腹症に対する外科的治療などを必要とする患者さんに対しては、初期診療から集中治療までを救急科医師が中心となって診療します。

救急治療を必要とする患者さんを積極的に受け入れ、救急科スタッフのみでなく、施設の総合力を集結して最善の治療を提供します。



主な対象疾患

重症患者さんを中心とした、すべての救急治療を要する患者さんを受け入れています。また、初期及び第二次救急医療施設の後方病院として十分に機能できるように、365日、24時間体制で診療を行っています。

病院外心停止（心停止後症候群に対する治療も含みます）	発性低体温症）
外傷	急性冠症候群
熱傷	大動脈疾患（急性大動脈解離、大動脈瘤破裂など）
重症感染症（敗血症）や特殊感染症（ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風など）	脳血管障害
急性腹症	呼吸不全
急性中毒	心不全
体温異常（熱中症や偶	出血性ショック
	意識障害
	複数の領域診療科にわたる重篤な病態

得意分野

- 救急診療だけでなく、集中治療、外傷、外科、そして熱傷専門医認定施設として、我が国の指導的な役割を担います。さらに、急性期外科診療 - acute care surgery、膜型人工肺による補助循環を用いた治療を行うECMOセンターとして、集中治療領域にも広く診療体制を整備しています。
- “外傷再建センター”として、機能的再建が必要な整形外科領域の患者さんの診療を専門チームが積極的に行っています。
- 宮城県ドクターヘリ基地病院として活動を行い、県内全域に質の高い救急医療と集中治療を常に提供しています。



CTと血管撮影装置を備えたハイブリットER